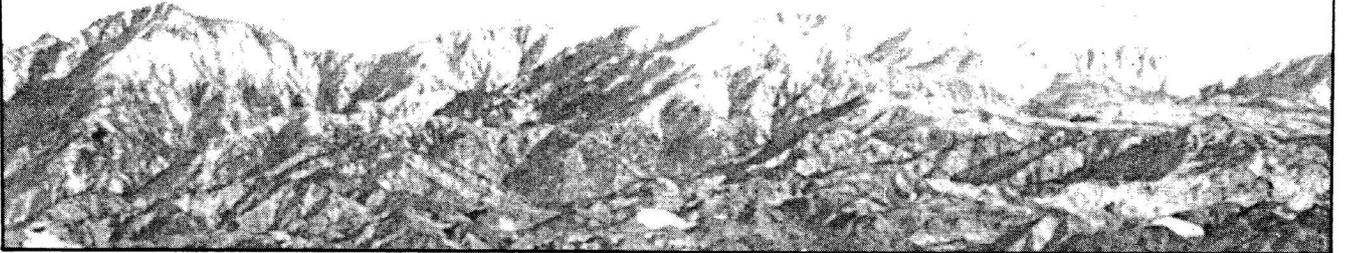


# 富山大学 学報



(題字 大井信一 学長)

第288号

## 目 次

関 係 法 令.....	2	富山共済組合支部連絡協議会ソフトボール大会...	9
諸 会 議.....	2	学内レクリエーション〈見学小旅行(文化部会)〉...	10
学 事.....	3	地域共同センター起工式.....	10
昭和63年度富山大学学生募集要項.....	3	講演会.....	11
昭和62年度科学研究費補助金交付(第2次)内		シリーズ「富山大学, あの日あの頃」(14)	
定者.....	9	老生の追憶 その3.....	12
人 事 異 動.....	9	職 員 消 息.....	13
学 内 諸 報.....	9	主 要 行 事.....	14
叙勲.....	9		



(2) 将来計画(案)について

選抜方法研究委員会の合同委員会(10月30日)

昭和62年度第7回補導協議会(10月29日)

(審議事項)

(議 題)

(1) 昭和63年度私費外国人留学生のための富山大学  
入学志願案内(案)について

昭和62年度第8回入学試験管理委員会・第6回入学者

## 学 事

## 昭和63年度富山大学学生募集要項

本学は、昭和63年度の富山大学学生募集要項を10月30日(金)に次のとおり発表しました。

## 昭和63年度富山大学学生募集要項(抜粋)

## 1. 募 集 人 員

学部	学科・課程(専攻教科)	募集人員	学部	学科・課程(専攻教科)	募集人員
人文学部	人文学科	95	理学部	数学科	43
	語学文学科	95		物理学科	47
	計	(注1) 190		化学科	43
教育学部	小学校教員養成課程	(注2) 140		生物学科	35
	中学校教員養成課程 〔国語, 社会, 数学 理科, 音楽, 美術 保健体育, 家庭 技術, 英語〕	50		地球科学科	32
				計	(注4) 200
			工学部	電気工学科	53
				工業化学科	48
	金属工学科	43			
養護学校教員養成課程	20	機械工学科	53		
幼稚園教員養成課程	30	生産機械工学科	43		
計	240	化学工学科	43		
経済学部	昼間主 コース	経済学科	144	電子工学科	43
		経営学科	124	計	(注5) 326
		経営法学科	102	総 計	1,386
	夜間主 コース	経済学科	20		
		経営学科	20		
		経営法学科	20		
	計	(注3) 430			

(注) 1 人文学部の募集人員(190)には、帰国子女及び社会人のための特別選抜によるもの(若干名)を含む。

## 2 教育学部における課程新設計画について

本学教育学部では、昭和63年度から既設の小学校教員養成課程の入学定員140名のうち40名を振り替えて「情報教育課程(入学定員40名)」を新設することを計画している。

この新設計画の詳細については、昭和63年度政府予算案決定後(昭和63年1月頃)、「追加学生募集要項」を発表する予定であるので、教育学部志願者は特に注意すること。

3 経済学部の募集人員(430)には、推薦入学(昼間主コース19名以内、夜間主コース20名程度)、帰国子女及び社会人のための特別選抜によるもの(帰国子女特別選抜若干名、社会人特別選抜20名程度)を

含む。

なお、経済学部「昼間主コース」とは、主として昼間の授業を履修するコースであり、「夜間主コース」とは、主として夜間の授業を履修するコースであるが、修業年限は共に4年である。

- 4 理学部の募集人員(200)には、物理学科の定員一部留保第2次募集人員(12)、物理学科・化学科・生物学科・地球科学科における帰国子女のための特別選抜及び生物学科における社会人のための特別選抜によるもの(若干名)を含む。

#### 5 募集人員の増員について

本学工学部は、上記募集人員について増員(16名程度)を計画している。

昭和63年度予算の関係で現在は未確定であるが、この詳細は政府予算察の決定後(昭和63年1月頃)発表する予定であるので注意すること。

## 2. 出 願 期 間

昭和63年2月1日(月)から2月10日(水)まで。(10日消印有効)

受付は午前9時から午後5時まで。ただし、土曜日は正午までとし、日曜日は受け付けない。

## 3. 検 査 期 日

昭和63年3月5日(土)

(教育学部小学校・養護学校・幼稚園教員養成課程の実技検査は3月6日(日))

### (1) 出 願 要 領

#### ア 人文学部の出願について

人文学部志願者は、学科を指定し、必ず第2志望まで付して出願すること。

#### イ 教育学部の出願について

教員学部志願者は、小学校教員養成課程、中学校教員養成課程の専攻教科、養護学校教員養成課程又は幼稚園教員養成課程を指定して出願すること。

ただし、第2志望を付して出願することができるが一部制限がある。

(ア) 第2志望とすることができる課程、専攻教科は次のとおりである。

第1志望の課程(専攻)	第2志望とすることができる課程(専攻)
小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	小学校教員養成課程、養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程相互間の他に 国語で受験する者は、中学校教員養成課程(国語, 社会, 英語) 数学で受験する者は、中学校教員養成課程(数学, 理科, 家庭, 技術) 英語で受験する者は、中学校教員養成課程(国語, 社会, 数学, 理科, 家庭, 技術, 英語)
中学校教員養成課程 (国語, 社会, 英語)	国語で受験する者は、中学校教員養成課程(国語, 社会, 英語)相互間 英語で受験する者は、中学校教員養成課程(国語, 社会, 英語)相互間の他に 中学校教員養成課程(数学, 理科, 家庭, 技術)
中学校教員養成課程 (数学, 理科, 家庭, 技術)	数学で受験する者は、中学校教員養成課程(数学, 理科, 家庭, 技術)相互間 英語で受験する者は、中学校教員養成課程(数学, 理科, 家庭, 技術)相互間の他に 中学校教員養成課程(国語, 社会, 英語)

(イ) 中学校教員養成課程(音楽, 美術, 保健体育)は、第2志望を付すことはできない。

## 4. 入学者の選抜方法

入学者の選抜は共通第1次学力試験、第2次の学力検査等、調査書及び健康診断を総合して行う。

ただし、経済学部「夜間主コース」入学者の一般選抜は、共通第1次学力試験、調査書及び健康診断を総合して行う。

### (1) 共通第1次学力試験の受験を要する教科

本学における共通第1次学力試験の受験を要する教科は次のとおりである。

学 部 ・ 学 科		受験を要する教科名	受験を要する教科数
人 文 学 部 教 育 学 部 経 済 学 部		国語, 社会, 数学, 理科, 外国語	5 教 科
理 学 部	物 理 学 科 化 学 科 生 物 学 科 地 球 学 科	国語, 社会, 数学, 理科, 外国語	5 教 科
	数 学 科	国語, 数学, 理科, 外国語	4 教 科
工 学 部		国語, 数学, 理科, 外国語	4 教 科

(2) 第2次の学力検査等

本学が実施する第2次の学力検査の検査教科・科目等は次のとおりとし、高等学校卒業の学力程度を標準として出題する。

第2次の学力検査教科・科目等

学 部	学科・課程(専攻教科)	検 査 教 科 ・ 科 目	
		教 科 等	科 目
人文学部		国 語 外 国 語	国語Ⅰ・国語Ⅱ 英語Ⅱ・英語ⅡB, ドイツ語, 朝鮮語, 中国語, ロシア語のうちから英語は2, その他は1科目選択
教育学部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	国 語	国語Ⅰ・国語Ⅱ
		数 学	
		外 国 語	英語Ⅱ・英語ⅡB
		芸 術	
	保健体育	体育実技	
			1 科目選択
	中 学 校 教 員 養 成 課 程	国 語	国語Ⅰ・国語Ⅱ
	(国語, 社会, 英語)	外 国 語	英語Ⅱ・英語ⅡB
	(数学, 理科, 家庭, 技術)	数 学	代数・幾何, 基礎解析
	(音 楽)	外 国 語	英語Ⅱ・英語ⅡB
	(美 術)	芸 術	音楽実技
	(保 健 体 育)	芸 術	美術実技
		保 健 体 育	体育実技
経済学部	昼 間 主 コ ー ス	数 学 外 国 語	代数・幾何, 基礎解析 英語Ⅱ・英語ⅡB 2科目 又はドイツ語1科目選択
理学部	数 学 科	数 学	代数・幾何, 基礎解析, 微分・積分, 確率・統計 (統計は除く)
	物 理 学 科	数 理 学 科	代数・幾何, 基礎解析 物理
	化 学 科	数 理 学 科	代数・幾何, 基礎解析 化学

理学部	生物学科	理科 その他	物理, 化学, 生物, 地学のうちから1科目選択 小論文〔自然科学を学ぶのに必要な論理的な思考能力並びに表現力などを問う。(高度な知識そのものを問うものではない)〕
	地球科学科	数理学科	代数・幾何, 基礎解析 物理, 化学, 生物, 地学のうちから1科目選択
工学部	電気工学科 機械工学科 生産機械工学科 電子工学科	数理学科	代数・幾何, 基礎解析 物理
	工業化学科	数理学科	代数・幾何, 基礎解析 化学
	金属工学科 化学工学科	数理学科	代数・幾何, 基礎解析 物理, 化学のうちから1科目選択

- (注) 1. 経済学部「夜間主コース」は第2次の学力検査は課さない。  
 2. 理学部数学科は「数学」を2時限にわたって課す。第1限〔代数・幾何, 基礎解析〕10:00~11:30,  
 第2限〔代数・幾何, 基礎解析, 微分・積分, 確率・統計(統計は除く)〕12:30~14:00。  
 (3) 共通第1次学力試験及び第2次の学力検査等の配点

学部(学科・課程)		教科等		区分	国語	社会	数学	理科	外国語	実技検査	小論文	小計	合計	
		区	分											
人文学部		共通第1次 第2次			200 200	100	200	100	200 200			800 400	1,200	
教育学部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程		共通第1次 第2次			200 200	100	200 200	100	200 200	200		800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (国語, 社会, 英語) 専攻		共通第1次 第2次			200 400	100	200	100	200 400			800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (数学, 理科, 家庭) 技術専攻		共通第1次 第2次			200	100	200 400	100	200 400			800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (音楽, 美術, 保健体育専攻)		共通第1次 第2次			200	100	200	100	200	400		800 400	1,200
経済学部	経済学科, 経営学科 経営法学科 (昼間主コース)		共通第1次 第2次			100	50	100 300	50	100 300			400 300	700
	経済学科, 経営学科 経営法学科 (夜間主コース)		共通第1次				100	200	100	200			800	800
理学部	数学科		共通第1次 第2次			200		200 400	100	200			700 400	1,100
	物理学科		共通第1次 第2次			200	100	200 200	100 400	200			800 600	1,400
	化学科 地球科学科		共通第1次 第2次			200	100	200 200	100 200	200			800 400	1,200
	生物学科		共通第1次 第2次			200	100	200	100 400	200		400	800 800	1,600
工学部		共通第1次 第2次			100		100 200	100 200	100			400 400	800	

5. 検 査 場

学力検査及び健康診断（再診断）は、各学部ごとに次の検査場（予定）で行う。ただし、志願者数によっては検査場の変更（富山市内公立高等学校等）もあり得るので、**確定検査場及び検査場案内は受験票等送付（2月16日頃）の際、通知する。**

人文学部検査場

人文学部及び教養部（富山市五福）……………（学力検査 健康診断）

教育学部検査場

教 育 学 部（富山市五福）……………（学力検査 健康診断）  
（実技検査）

経済学部検査場

経済学部及び教養部（富山市五福）……………（学力検査 健康診断）

理学部検査場

理 学 部（富山市五福）……………（学力検査 健康診断）

工学部検査場

工 学 部（富山市五福）……………（学力検査 健康診断）

6. 合 格 者 発 表

合格者は、昭和63年3月18日(金)午前9時本学（富山市五福）に掲示し、かつ、本人に通知する。電話その他による問い合わせには応じない。

経済学部推薦入学学生募集要項

(1) 募 集 人 員

- ア 「昼間主コース（経済学科，経営学科，経営法学科）」 19名以内
- イ 「夜間主コース（経済学科，経営学科，経営法学科）」 20名程度

(2) 出願資格及び推薦の要件

ア 「昼間主コース」

高等学校の専門教育を主とする学科（いわゆる職業科）を昭和63年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当する者。

- (ア) 人物，学力，健康において優れ，かつ，勉学意欲が旺盛であり，高等学校長が責任をもって推薦する者。
- (イ) 高等学校の最終年次における成績が所属学科の上位10%以内の者。

なお，高等学校長が推薦できる人数は，1高等学校につき2名以内とする。

イ 「夜間主コース」

高等学校を昭和63年3月卒業見込みの就職内定者で，人物，学力，健康において優れ，かつ，勉学意欲が旺盛であり，高等学校長が責任をもって推薦する者。

(3) 出 願 期 間

昭和62年11月16日(月)から11月21日(土)正午までに必着のこと。

受付は午前9時から午後5時まで。ただし，土曜日は正午までとする。

(4) 入学者の選抜方法

推薦入学者の選抜は，共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し，推薦書，調査書，志願理由書，小論文，面接及び健康診断の結果を総合して判定する。

ア 選抜期日・場所

コ ー ス	月 日(曜)	時 間 帯 等	場 所	備 考
昼間主コース	12月9日(水)	集 合 9:00	富山大学経済学部 (富山市五福3190番地)	小論文作成のための資料には，英文が含まれる。
		小論文 9:30～11:10		
		面 接 13:00～		
夜間主コース	12月6日(土)	集 合 9:00	同 上	

夜間主コース	12月6日(日)	小論文 9:30~11:10	
		面接 13:00~	

### イ 健康診断

- (ア) 提出された調査書により審査し、その結果、必要と認められた者について再診断を実施する。該当者の受験番号及び検査の詳細は、選抜当日の小論文終了後、検査場に掲示する。
- (イ) 調査書「健康の状況」欄の記載内容が事実と相違する場合は、入学許可を取り消すことがある。  
なお、入学者に対しては4月上旬に健庫診断を行い、その結果、修学に支障があると認められた者は、休学を命ずることがある。
- (ウ) 健康診断の判定は、次のとおり行う。  
疾病あるいは障害のみを理由とする不合格の判定は行わない。

### 注 事 事 項

志願者で、裸眼視力0.3未満の者は、調査書の視力欄に矯正視力を必ず記入すること。

### (5) 選抜結果の通知

選抜の結果は、**昭和62年12月19日(土)**付けで出身高等学校長及び本人に文書で通知する。  
合格者には、合格通知書、入学確約書及び入学手続等に関する書類を送付する。  
電話その他による問い合わせには応じない。

### 帰国子女及び社会人のための特別選抜について

本学では次のとおり特別選抜を行うが、詳細については別に要項があるので、240円切手（速達の場合 440円）をはった返信用封筒〔角形3号（21.6cm×27.7cm）〕を同封のうえ、「帰国子女（または社会人）特別選抜募集要項請求」と朱書して請求すること。

#### (1) 帰国子女特別選抜実施学部等

人文学部、経済学部「昼間主コース」、理学部（物理学科、化学科、生物学科、地球科学科）

#### (2) 社会人特別選抜実施学部等

人文学部、経済学部「夜間主コース」、理学部（生物学科）

#### (3) 出 願 期 間

昭和62年11月16日(月)~11月21日(土)正午必着

#### (4) 募集要項請求先

「〒930 富山市五福3190番地 富山大学  
人文学部学務係  
経済学部教務係  
理学部学務係  
学生部入学主幹」

### 理学部定員一部留保第2次募集について

昭和63年度大学入学者選抜共通第1次学力試験の全教科を受験した者で、かつ、いずれの国公立大学（私立産業医科大学を含み、大阪府立大学工学部を除く。以下同じ。）にも合格していない者（いずれの国公立大学にも出願していない者を含む。）に対し、本学理学部物理学科では3月20日(日)から定員一部留保第2次募集を行う。この細目については、別に募集要項があるので、240円切手（速達の場合440円）をはった返信用封筒〔角形3号（21.6cm×27.7cm）〕を同封のうえ、「理学部定員一部留保第2次募集要項請求」と朱書して、下記に請求すること。

なお、入学志願者は、出願期間が短いので、提出書類等は事前に準備しておくことが必要である。

#### (1) 出願期間

昭和63年3月20日(日)~3月24日(木)午後5時必着

#### (2) 募集要項請求先

「〒930 富山市五福3190番地 富山大学  
理学部学務係  
学生部入学主幹」

(入学試験係)

昭和62年度 科学研究費補助金交付（第2次）内定者

研究種目	研究代表者			研究課題	配分子定額(千円)		
	所属	職	氏名		62年度	63年度	64年度
一般C	理学部	助教授	道端 齊	ホヤの血球細胞から抽出したバナジウム結合物質の精製と構造決定	1,500		

(学事調査係)

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏名	異動前の所属官職	異動内容	任命権者
採用	62. 10. 26	江川 秀子		事務補佐員(入学主幹付)	富山大学長
	62. 11. 1	庄子 仁		助教授(理学部)	〃
	〃	大石 雅壽		助手(理学部)	〃
辞職	62. 10. 20	今井 智保子	事務補佐員(工学部)	辞職を承認する	〃
	62. 10. 31	津島 みゆき	事務補佐員(工学部)	辞職を承認する	〃
退職	62. 11. 1	永井 正夫	臨時用務員(教育学部作業員)	昭和62年10月31日限り退職した	〃
公の名称の附加	62. 10. 12	西村 清	事務局長	経理部長事務代理を命ずる	文部大臣
公の名称の消滅	62. 10. 27	西村 清	事務局長	経理部長事務代理を免ずる	〃

(任用係)

学 内 諸 報

叙 勲

昭和62年秋の叙勲

名誉教授 養田 實 勲二等端宝章

11月3日付で、昭和62年秋の叙勲が発表され、本学関係では次の方が受章されました。

名誉教授 小森 典 勲三等旭日中綬章

富山共済組合支部連絡協議会ソフトボール大会

去る10月8日(木)常願寺公園において、富山共済組合支部連絡協議会主催のソフトボール大会が行われました。朝方の雨も上り、曇り空ながら11支部参加によ

り熱戦が繰りひろげられました。

富山大学は、2回戦より試合があり、富山商船高専と対戦し、4対3で辛勝、準決勝で富山市と対戦し、

4対4で、トスにより決勝進出を決めました。そして今年も決勝戦は公立学校と対戦となりましたが、今年は昨年の雪辱を果たし、3対1で優勝しました。

優 勝 富山大学支部  
次 勝 公立学校支部

(経理・給与係)

詳細は、次のとおりです。

日 時 10月8日(木) 午前9時～

場 所 常願寺公園 野球場

### 学内レクリエーション 見学小旅行(文化部会)

#### ◎馬場島紅葉狩りと穴の谷霊場巡り

期 日 10月31日(土)

見学先 中新川郡上市町

◦馬場島

◦穴の谷霊場

◦参加者 26名

文化部会は恒例の半日旅行を、北アルプスの巨峰剣岳の前面に連なる早月尾根の山麓でしかも、冬季剣岳登山口として知られる馬場島へ行った。あいにくの秋雨模様ではあったが、そのなかに煙むる紅葉は一段の趣があった。一同、山岳遭難碑に詣で、早月川原に遊ぶ野猿の群に別れを惜しみながら、次のコース穴の谷霊場を訪れた。天下に名高い名水を含み、かつ、それ

ぞれの容器にいただき、暮秋の山を跡にした。

(文化部会)



### 地域共同研究センター起工式

本学の学内共同教育研究施設である地域共同研究センターの起工式が、10月16日午前11時から工学部キャンパス東側の建設用地で行われました。

建物は、延1,140㎡の2階建てとして先端技術に関連する実験室、研究室からなり、来年3月の完工を目指しています。

(庶務係)



## 〈 講 演 会 〉

## 中国の改革と現状—中日の歴史より見た—

遼寧大学 顧奎相

去る10月21日(水)午後3時～5時、本学人文学部 122番教室において、顧奎相氏の講演会（通訳人文学部助教授 檀上 寛）が開催された。

氏は本学と友好関係にある中国遼寧大学歴史系の副教授で、同大学の副学長でもある。本年8月31日から11月3日までの約二ヶ月間、友好学術交流の打ち合わせと研究のために来日された。氏の専攻は中国前近代史と史学史であり、特に歴史上の改革に対する関心が強く、それらの分析の結果を現代の改革にいかにかすが、氏にとっての究極のテーマだとされる。来日を機に、上記の標題で記念講演が行われた。教職員、学生など約120名の聴講者があり、中国の歴史と、改革に対する認識を新たにし、感銘深いものがあった。

## 〔講演要旨〕

本日の講演では、三つの問題を提示して諸先生方の教を請いたいと思う。第一点は、歴史は改革の中で前進するという点である。日本では大化の改新や明治維新が成功を収め、中国でも秦始皇、唐太宗らの時代にはすぐれた改革が行われ、社会が発展した。しかし中国は近代になると、百日維新が保守派の西太后のために失敗して以後、半封建・半植民地への道程を急速にすべり落ちていった。つまり、改革は発展と進歩とを推進し、改革の内容がよければ歴史の発展も早いということを、中日の歴史が証明しているのである。

次に第二点は、中国の現今の改革は必ず成功するという点である。現在中国では第二次革命と呼ばれる

改革が進行中だが、中国はこの改革を経ることで新しく生まれかわり、経済力も必ず飛躍するに違いない。ただしそのためには三つの条件が備わる必要がある。(一)、最高指導者が確固たる改革派である。(二)、改革政策が継続して行われている。(三)、改革と並んで開放政策が重視されている。以上は歴史上の改革を通して導き出した結論だが、私が思うに改革の成功を保証するこれらの諸条件は、今日すでに備わっている。それ故、中国が現在進めている改革は、必ず成功すると確信するのである。

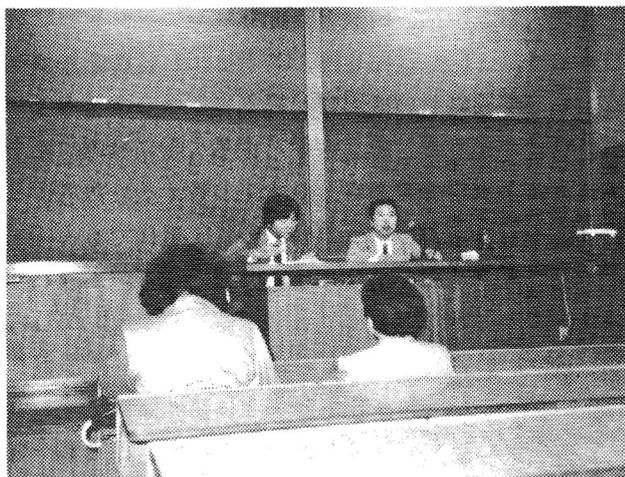
最後に、中国の改革の現状について述べてみたい。現在の改革事業は1978年の第11期3中全会に始まり、その後農村改革は相当進行して堅実な物質的基礎がもたらされた。この基礎の上に立って都市の経済体制の改革も行われ、多くの中小企業では租賃制・承包制・労働分配制などを導入して、生産を飛躍的に増大させた。また、政治体制の改革については、来たる中国共産党第13回代表大会で幹部の若返りが図られ、旺盛な精力で各方面の改革が進められていくはずである。さらに教育面については、今日知識人の地位は四人組時代に比べて大きく向上している。

しかしながら、中国は歴史が古く、改革は困難で一朝一夕に達成できるものではない。そこには過程が必要なのである。従って改革の現状を一言で概括すれば「困難を伴いながらも、第一歩には勝利を収めた」といったところであろう。今後の展開は、改革の大会である第13回代表大会以後のことであり、この大会こそ中国の改革を新たな一章の上に書き込むことになると考えている。

講演を終えるにあたり、七言律詩「訪日抒懷」一首を賦して、私の訪日の体験と心情とを表明したいと思う。

## 訪 日 抒 懷

金秋時節訪東鄰 步履所及耳目新  
博采友邦精妙處 引入華夏補乾坤  
亦望諸卿多光顧 盡備美酒宴佳賓  
東渡西航頻交往 鑑真阿倍可慰魂



(秋の盛りに東隣の国日本を訪問し、足の向くところ見るも聞くも新しづくめである。友邦の優れた点を博く採用し、中国に持ち帰って国家建設に役立てようと思う。また、望むことは、多くの方が中国に来られるこ

とである。その時には美酒を尽く用意して佳賓のために宴を催そう。東に渡り西に航海して頻繁に交流すれば、鑑真も阿倍仲麻呂も魂が慰められることであろう。)

(人文学部)

## シリーズ「富山大学、あの日の頃」(14)

### 老生の追憶 その3 (原富慶太郎先生の追憶)

富山大学名誉教授の会 溝 上 茂 夫

原富慶太郎先生を追憶するに当り、先生の崇高なご生涯に相応しきものとして、次の一つの古典的な文を花として献げたい。

老いたる者の中には智慧あり、<sup>いのちながきもの</sup> 寿長者の中には穎悟あり。<sup>さとり</sup> (ヨブ記12/12)

人間の教養はこのような樹木に比べることができる。老樹は根を深く大地に宿して栄養を深みから吸収すると同時に、その頂きを高く天空に上げ、その高みから、太陽の光と熱からも吸収する。

オットー・ヴィルマン

(陶冶論としての教授学)

原富慶太郎先生は長いご生涯を一貫して、ご自身のうちなる自然の豊かな才能から汲みとられただけでなく、ご自身を超えた超自然の恩寵からも、その独特の敬虔心によって汲みとられたのではないかと思う。

私は蓮町の文理学科の教授を数年間兼務したが、原富先生と私とが共にこの五福のキャンパスで暮らしたのは昭和24年から33年までの約9か年であった。登下校の際に互いに挨拶を交わすのはその都度であったが、さりげなく言葉を交わしたのは幾回であったであろうか。しかし人間はその存在、その姿だけでも無言のうちに言葉よりもはるかに多く語り合っていることもある。そういえば、私は学生時代のある日、一人の友と共に校庭の一隅に立っていた。その時、校庭を斜めによぎる一人の若々しい教授の姿があった。私は友を顧みてあれば誰かと質ねた。彼は歴史の新見吉治教授だと答えた、この一瞬の印象が終生私の心に残った。講筵に列する機会は遂に一度も無かった。そして瑞々しく、見るからに魅力ある若き教授も、人生の深淵を満喫し、百歳に近くおなりになった頃、固より私も老境深く足を踏み込んでのことであるが、この頃になって先生と私との間に深い心の交流が始まり、先生が私に送られたご書翰が先生の百歳のご生涯の絶筆となった。これは巻物となって桐の箱におさまっている。深さは

交わりの年月の長短によらない。原富先生と私との関係もこの類であろう。



原富慶太郎先生、明治24年8月29日生れ、昭和43年2月14日逝去。享年78歳。大阪府ご出身。

独学といえば先生は小学校以外に学んだことのないほとんど完全な独学の士。大正3年弱冠

21歳にして師範学校・中学校・高等女学校教員検定試験数学に合格。いわゆる文検と称する難関、特に数学は天才と努力の結合であると思う。翌4年から11年までの6、7年の間に、大阪府、奈良県、大分県、愛知県、埼玉県等、五つの府県立中学校を転々。先生の優れて安定し、特別に落ち着いたご性格から察して、何かの苦労がおりになったのかも知れない。その9年間を経て、昭和12年、30歳にして高等学校高等科教員検定試験数学に合格。これは全国に異数である。

昭和2年10月、富山高等学校教授として来任、同24年6月、富山大学教授、同27年より2年間、富山大学大学評議員併任、33年3月定年退官、在職期間9年、前身の高等学校教授22年を合算して在職年数約30年の長きに達する。

師の人格と生活、講義と研究態度等に感銘することなくして師と同じ進路を選ぶ若者は稀れである。旧制富山高等学校において原富慶太郎先生から数学を学び、当時数学のメッカと称えられた東北大学に進み、業を了えて富山大学に職を奉じた先生の教え子も数名に及んでいる。原富先生の感化によって、現代でも古代ギリ



シャに似てこれらの若者たちには数学が聖なる学として心に映じたのかも知れない。私は横山辰雄先生には非常に温くお交わりをいただいた。渡邊義一先生は日本数学教育学会名誉会員

である。固より私の親友の一人である。数学そのものの、研究も大切であるが、数学教育の研究もこれに劣らず重要である。これは最近国際的にも深く自覚されるようになった。

原富慶太郎先生は位相数学と称する専門領域においては我が国有数の権威者と仄聞している。

原富慶太郎先生長身白哲、高貴の風格あり、その歩調常に悠々、焦りを知らず。変ることなく風呂敷包みを抱えて校門を出入。恐らく中味は当日の講義案であったであろう。

低声、物静かにして謙虚丁寧、常に笑みを湛う。円満具足とはかかる相のことか。

「この子残して」とは長崎大学の永井隆博士だけのものではない。ご遺族に対してはいつも渡邊義一先生が行きとどいた相談相手となっておられる。

原富慶太郎先生、人生78年の内、最も重要な部分、その円熟完成の30年間をこの富山と富山大学に献げ、その身も富山の土と成られた。この人死すともその人格によって今尚語る。

## 職 員 消 息

### 《新任者住所》

#### 学 生 部

事務補佐員 江 川 秀 子

#### 教 養 部

教 授 須 山 幸 男  
(数 学)

講 師 下 山 茂  
(フランス語)

### 附属図書館

事務補佐員 寺 島 和 裕  
(総務係)

### 《住所変更》

#### 事 務 局

文部事務官 新 出 信 幸  
(出納係)

#### 理 学 部

助 教 授 笹 山 雄 一  
(形態学)

#### 教 養 部

助 教 授 菊 川 茂  
(生物学)



主 要 行 事

本 部

- 10月
- 1～2日 昭和62年度物品定期検査（工・養・教育）
- 2日 昭和62年度第7回補導協議会・第3回学寮補導委員会の合同委員会
- 3日 学長杯ソフトボール大会
- 5～7日 昭和62年度体育系サークルリーダー研修会（於：山野スポーツセンター）
- 5～9日 昭和62年度物品定期検査（経済，本部，人文・理）
- 6～7日 第23回国立41大学庶務部長会議（於：市町村職員共済組合保養所 ちとせ荘）
- 8～9日 第46回東海・北陸地区国立大学等施設部課長会議（於：名古屋大学）
- 9日 第3回相互乗り入れ等検討小委員会
- 12日 昭和62年度第2回富山大学施設整備委員会  
第4回学園ニュース編集委員会
- 13日 北陸地区国立大学人事担当課長会議（於：富山大学）  
構内交通対策委員会
- 14～15日 第23回41国立大学経理部長会議（於：信州大学）
- 15～16日 第8回全国国立大学学生部長協議会（於：人材開発センター富士研修所）
- 16日 地域共同研究センター起工式  
第8回評議会  
第3回部局長懇談会
- 19日 公開講座（高齢化社会を考える11月9日まで）
- 21～22日 第25回全国大学保健管理研究集会（於：長崎市民会館）
- 22～23日 昭和62年度東海・北陸・近畿地区国立学校等広報・文書研究協議会（於：浜名荘）  
第72回東海・北陸地区国立学校等会計部課長会議（於：富山大学）
- 23日 部局長会議  
第6回事務協議会

- 第15回国立大学保健管理センター所長会議（於：福岡市私立学校教職員共済組合ガーデンパレス）
- 26日 昭和62年度第1回国際交流委員会留学生部会
- 26～27日 第45回東海・北陸地区国立大学長会議（於：三重大学）  
行政財産等の実施監査
- 27～30日 昭和62年度国立学校等幹部職員研修（於：国立オリンピック記念青少年総合センター）
- 29日 授業料減免選考委員会
- 29～30日 第22回東海・北陸地区国立大学事務局長会議（於：静岡大学）  
行政財産の実地監査
- 30日 第14回北陸地区国立学校施設担当者連絡協議会（於：福井医科大学）  
第8回入学試験管理委員会及び策6回入学者選抜方法研究委員会の合同会議  
第3回学務関係係長会議

人 文 学 部

- 10月7日 物品定期検査
- 12日 教務委員会  
教授会  
人事教授会
- 13日 専門教育課程移行者オリエンテーション
- 14日 後学期授業開始
- 14～16日 15大学人文系学部長会議及び同事務長会議（於：茨城大学）
- 16日 内科検診
- 19日 係長連絡会
- 20日 紀要委員会
- 21日 係長連絡会  
施設委員会  
講演会  
「中国の改革と現状—中日の歴史より見た—」

講師 遼寧大学 副教授 顧 奎相  
 22日 循環器検診（於：保健管理センター）  
 28日 教授会  
 人事教授会  
 コース別ソフトボール大会  
 30日 補導委員会

29～30日 日本教育大学協会北陸地区会学長・副学長  
 ・学部長・学部教員合同会議（於：上越教育大学）

### 教育学部

10月1日 入学者選抜方法検討委員会  
 2日 附属学校運営委員会  
 物品定期検査  
 2～3日 日本教育大学協会北陸地区社会科部門研究協議会（於：鯖江市）  
 6～7日 日本教育大学協会北陸地区保健体育部門研究協議会（於：新潟大学）  
 8～9日 日本教育大学協会北陸地区国語科・書道科合同研究協議会（於：富山大学）  
 14日 拡大将来計画委員会  
 補導委員会  
 教務・補導合同委員会  
 教務委員会  
 教授会  
 人事教授会  
 15～16日 日本教育大学協会北陸地区音楽部門研究協議会（於：信州大学）  
 16～17日 日本教育大学協会北陸地区数学部門研究協議会（於：富山大学）  
 日本教育大学協会北陸地区外国語部門研究協議会（於：宇奈月町）  
 19日 教育実習終了  
 19～20日 昭和62年度秋期全国国立大学教育学部長会議（於：埼玉大学）  
 20日 後学期授業開始  
 循環器検診  
 21日 毒物・劇物調査  
 22～23日 昭和62年度北陸地区教員養成学部事務長協議会（於：新潟大学）  
 23～24日 日本教育大学協会北陸地区理科部門研究協議会（於：新潟大学）  
 28日 補導委員会  
 人事教授会  
 29日 紀要編集委員会

### 経済学部

10月2日 昭和62年度転学部出願者の選考委員会  
 5日 各種委員選考委員会  
 物品定期検査  
 7日 経済学部と教養部教務委員会委員の合同会議  
 9日 図書委員会  
 13日 教務委員会  
 人事教授会  
 教授会  
 14日 専門教育課程移行者オリエンテーション  
 入学方法検討委員会  
 15日 後学期授業開始  
 補導委員会（持ち回り）  
 16日 教務委員会（持ち回り）  
 23日 循環器検診  
 23～24日 国立11大学経済・経営学部教官懇談会（於：山口大学）  
 27日 補導委員会  
 28日 教務委員会  
 教授会  
 防火対策委員会

### 理学部

10月7日 特品定期検査  
 12日 教授会  
 理学研究科委員会  
 人事教授会  
 14日 専門教育課程移行者オリエンテーション  
 15日 後学期授業開始  
 16日 内科検診（於：保健管理センター）  
 17日 教職科目に関するオリエンテーション  
 19日 係長連絡会  
 21日 富山保健所による毒物・劇物に関する立入り検査  
 係長連絡会  
 22日 補導委員会（持ち回り）

29～30日 国立22大学理学部長会議、国立大学理学部長会議（於：東京“ゆうぽうと”）

### 附属図書館

### 工 学 部

10月  
 1～2日 第11回国立大学47工学系学部長会議総会  
 （於：岐阜市）  
 1日 物品定期検査  
 9日 改革検討委員会  
 13日 教務委員会  
 研究科委員会  
 14日 教授会  
 人事教授会  
 15日 専門教育課程移行オリエンテーション  
 16日 後学期授業開始  
 19～20日 第20回北陸信越地区国立大学工学部長会議  
 （於：富山大学工学部）  
 19日 循環器検診  
 21日 専任教授会  
 22日 健康診断  
 26日 第1回事故調査検討委員会  
 27～28日 第40回国立大学工学系事務長会議  
 （於：名古屋市）  
 28日 補導委員会  
 30日 係長連絡会  
 健康診断

10月1日 富士通SEとの打合せ会（図書受入）  
 6日 物品定期検査  
 15日 ワーキンググループと富士通SEとの打合せ会  
 16日 職員健康診断（内科検診・尿検査・血圧測定）  
 20日 係長事務打合せ会  
 富士通SEとの打合せ会  
 22日 循環器検診  
 26日 係長事務打合せ会

### トリチウム科学センター

10月6日 物品定期検査  
 20日 消防訓練説明会  
 21日 放射線管理区域消防訓練  
 23日 昭和62年度第5回運営委員会  
 第4回将来計画専門委員会  
 26日 RI教育訓練講演会  
 27日 RI特別健康診断  
 28日 共同利用研究中間報告会

### 保健管理センター

### 教 養 部

10月5日 内地・在外研究員に関する委員会  
 9日 人事教授会  
 教授会  
 12日 図書委員会  
 15日 後学期授業開始  
 教授会  
 16日 機種選定委員会  
 22日 循環器検診  
 24～25日 親和会レクリエーション（於：山代温泉）  
 27～28日 12大学教養部長・事務長連絡会議  
 （於：山口大学）

10月6日 物品定期検査  
 9日 健康診断（事務局、学生部、トリチウム科学センター、保健管理センターの職員、男・女）  
 16日 健康診断（人文学部、理学部、教養部、附属図書館の職員、男・女）  
 19日 循環器検診（工学部及び地域共同研究センター職員、35才以上、男・女）  
 20日 循環器検診（教育学部職員、35才以上、男・女）  
 21～22日 第25回全国大学保健管理研究集会  
 （於：長崎市民会館）  
 22日 循環器検診（人文学部、理学部、教養部、附属図書館の職員、男・女）  
 23日 第15回国立大学保健管理センター所長会議